

多摩川流域の一斉水質調査について

多摩川流域で一斉水質調査を開始して今年で34年、美しい多摩川フォーラムが主体となって水質データをまとめ、レポートを発行して15年を迎えました。今年は397地点の水質を調査しました。ほとんどは、多摩川本川や支川から採水して測定していますが、川から離れた調査地点については、井戸水や登山道の沢水などを測定しています。

本調査は、多摩川上流から河口まで多くの地点の水質を毎年調査し、川全体の水質状況の把握と保全に役立てる資料としています。

市民が行う環境調査の重要性 ～多摩川一斉水質調査の意義～

美しい多摩川フォーラム副会長の小倉紀雄・東京農工大学名誉教授が提唱する「市民環境科学」は、身近な河川の水質調査の意義について、

- 市民自らが水環境を調査し、その実態を把握することができ、水環境について考えるきっかけになる
- 調査した結果に基づいて、必要に応じ水環境の保全・修復の実践活動を行うことができる
- 子どもたちが調査に参加することにより次世代へ繋げることができる

としています(参考文献:小倉紀雄「市民環境科学への招待」2003年)。当フォーラムが取りまとめている多摩川流域水質マップも、こうした考え方に基づいて作成されており、「多摩川一斉水質調査に向けて・成果報告書(2008年3月)」で、その意義が詳しく述べられています。

つまり、多摩川流域に住んでいる私たちは、身近な河川の環境を把握することにより、問題点などがあれば自ら解決に向けた行動をとることができるのです。

また、川は上流から河口まで一本でつながっています。自分たちの住んでいる地域だけで水質を良くしようとしても、上流に汚染源があったり、下流で生活排水が流入していると、例えば鮎のように川を遡上(そじょう)して生活する魚はすめません。このため、河川全体が一目でわかる流域マップの作成が必要なのです。さらに、このマップも1年だけではなく継続的に作成することで、その川の様子が見えてきます。水環境は、1日のなかで変化するほか、季節によっても変化します。その点を理解し、私たちの日常生活と河川環境のつながりを考えてみましょう。そのとき、みなさんで多摩川流域水質マップを活用していただければ幸いです。

● COD 測定結果(中央値) 直近5年間の水質を表記しています

測定結果	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	地点数	比率(%)	地点数	比率(%)	地点数	比率(%)	地点数	比率(%)	地点数	比率(%)
0～3mgO/L未満	146	38.4	248	71.3	172	71.1	195	58.7	224	56.4
3～6mgO/L未満	162	42.7	85	24.4	51	21.1	112	33.7	157	39.6
6mgO/L以上	70	18.4	12	3.4	13	5.4	21	6.4	14	3.5
未測定	2	0.5	3	0.9	6	2.4	4	1.2	2	0.5
合計	380	100.0	348	100.0	242	100.0	332	100.0	397	100.0

● 調査日と地点数

調査日	地点数
5月29日	21
30日	5
6月3日	7
4日	64
5日	227
7日	4
8日	2
9日	3
10日	15
11日	11
12日	17
以降の調査日	21

● CODって何?

『水の中にふくまれている有機物によるよこれを数値であらわしたものです』

COD (mg O/L)	川のきれいさ	どんな魚や生きものがすめるのかな?(目安)
0～3未満	きれい	ヤマメ・イワナ・アユ・サワガニ カワゲラ・ヘビトンボ
3～6未満	ややよごれている	フナ・コイ・ヒラタドROMシ コオニヤンマ・カワニナ
6以上	よごれている	魚は苦しくてすみたくない ヒル・タニシ・アメリカザリガニ

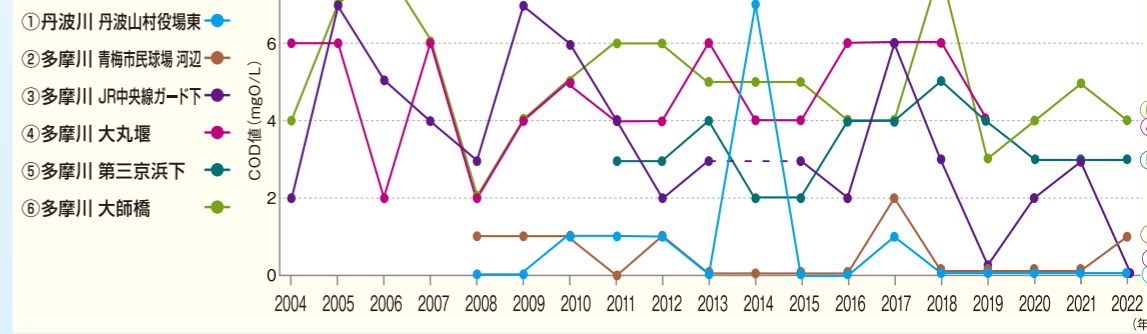
● 調査河川と測定地点数

調査河川	地点数
多摩川	80
平瀬川	3
谷沢川	3
谷戸川	1
丸子川	5
野川	25
仙川	3
乞田川	20
浅川	29
南浅川	13
北浅川	11
根川	1
大栗川	13
鐘水川	1
案下川	0
案内川	5
寺沢川	2
御霊谷川	3
川口川	7
大沢川	7
小仏川	1
城山川	8
残堀川	5
山田川	10
大田川	2
醍醐川	1
谷地川	6
程久保川	6
殿ヶ谷戸川	0
湯殿川	11
寺田川	1
入山川	1
兵衛川	3
平井川	3
日原川	2
秋川	6
平満川	1
入川	1
寸庭川	0
海沢川	1
小菅川	1
大丹波川	1
丹波川	1
三沢川	8
城の越川	2
殿入川	0
初沢川	1
大荷田川	0
長房川	0
山入川	0
白沢川	1
小介川	1
山沢川	1
五反田川	1
玉川上水	17
用水(分水)	27
沢、湧水	22
その他(池・井戸)	12
合計	397

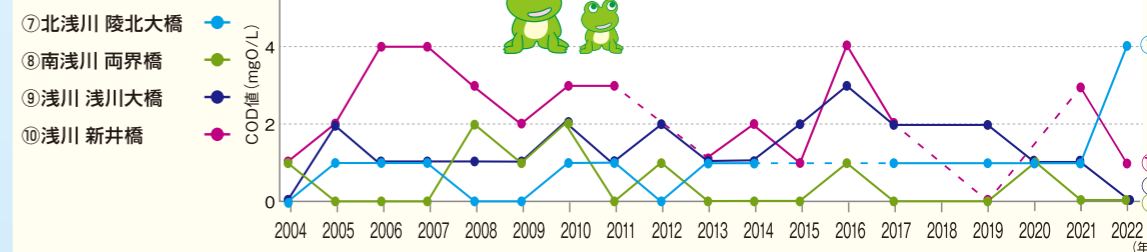
多摩川一斉水質調査2004年からの移り変わり



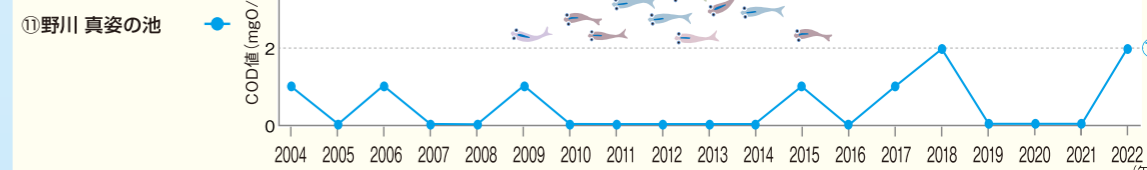
多摩川本川



浅川



野川



調査結果

● 温度

気温		水温	
測定結果	地点数	測定結果	地点数
10～35℃		10～30℃	
5℃未満	0	5℃未満	0
5～10℃未満	0	5～10℃未満	0
10～15℃未満	14	10～15℃未満	32
15～20℃未満	58	15～20℃未満	153
20～25℃未満	183	20～25℃未満	153
25℃以上	136	25℃以上	31

※ 気温及び水温は未測定地点もあるため総地点数と必ずしも一致しません。

調査団体(個人参加を含む)一覧(順不同)

浅川流域市民フォーラム/八王子ランドマーク研究会/八王子中央地区環境市民会議/多摩水辺の楽校/日野市環境共生部緑と清流課/八王子市東南部環境市民会議/浅川潤徳水辺の楽校/程久保川を考える会/八王子市北部環境保全推進地区市民会議/八王子西南地区環境市民会議/公益社団法人東京都山岳連盟自然保護委員会/東京NPO-21研究所/日野市立カワセミハウス/八王子市西部地区環境市民会議/八王子東部地区環境市民会議/NPO法人環境活動センター八王子/せたがや野川の会/羽村・水と緑の会/玉川上水ネット/公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会/福生水辺の楽校運営協議会/23区南生活クラブ生協/狛江市環境を考える会/小倉家/美登会/国分寺みずっこクラブ&国分寺地下水の会/美しい多摩川フォーラム/法政大学水文地理学研究室/バックテス共の会/日本山岳会・東京多摩支部・自然保護委員会/調布市多摩川自然情報館/みどりのつながり市民会議/高尾水環境調査会/ボーイスカウト東京新多摩地区VS合同隊/NPO法人砧・多摩川あそび村/東京都市大学・小堀研究室/国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所/CCたかつ/NPO法人多摩川エコミュージアム/かわさきの安全でおいしい水道水を守る会/NPO法人多摩源流こすげ/多摩川源流大学/個人参加 3名



今年度のまとめ

新型コロナウイルス感染症は未だ収束していませんが、基本的な感染防止対策をおこないながらこれまでの行動に戻りつつあるため、今年度は全国一斉調査日に水質調査を実施していただくよう参加者に呼び掛けました。多摩川流域でも多くの地点で水質調査が実施され、今年度は全体で397地点、そのうち全国一斉調査日(6月5日)には227地点で調査がおこなわれました。水質については、COD測定結果の青色、黄色、赤色の比率に昨年と大きな変化はありませんでしたが、調査地点によっては人間の影響で水質が変化してしまう場合もありますので、今後も継続して調べることが重要です。

発行日) 2022年11月1日
 発行) 美しい多摩川フォーラム
 (事務局:青梅信用金庫 地域貢献部 内)
 〒198-8722 東京都青梅市勝沼三丁目65番地
 tel: 0428-24-5632
 fax: 0428-24-4650
 e-mail: forum@tama-river.jp

協力・編集) 全国水環境マップ実行委員会 事務局 みずとみどり研究会
 〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
 tel/fax: 042-327-3169
 e-mail: mizutomidoriken@ybb.ne.jp
 (マップ製作) 国際航業株式会社

多摩川流域の水質マップ(COD)

2022年度実施
第19回身近な水環境の全国一斉調査と連携



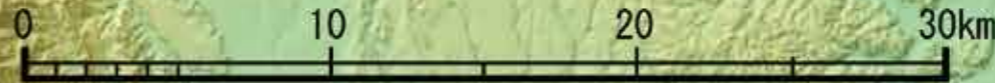

凡 例	
● (Blue)	0～3mgO/L未満
● (Yellow)	3～6mgO/L未満
● (Red)	6mgO/L以上

過去の「多摩川流域 一斉水質調査」について

過去の調査結果は、美しい多摩川フォーラム公式ホームページの「活動履歴 多摩川一斉水質調査」より、ご覧になれます。

<https://www.tamagawaforum.org/suishitsu>

スマートフォンはこちらから▼



東京湾